

はじめに



人口減社会の到来に伴い、高齢化はますます顕著になっています。そのような状況を見据えて、佐倉市では、高齢社会における保健・福祉・介護の諸問題に総合的に取り組むために、老人保健福祉計画と介護保険事業計画の整合性を図りながら、「第3期佐倉市高齢者保健・福祉・介護計画」を策定いたしました。

今回の計画は、平成15年3月に策定した「第2期佐倉市高齢者保健・福祉・介護計画」を基礎としながら、介護保険事業計画の見直しに併せて、計画全体を一体化するよう見直しを行ったものであります。

これからも、高齢者が心身ともに健康で生きがいを持ちながら、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けられるような豊かな社会の実現に向けて、環境を整備し支援していくことが必要であると認識しております。また、そのためには、市民と行政とが協働し、保健・福祉施策や介護予防事業等に取り組んでいくことが必要不可欠な要素であると考えております。

さらに、介護保険制度の下、高齢者が必要な保健・医療・福祉サービスを適切に受けることができるよう、効果的なサービス体制の確立も重要であります。

佐倉市といたしましては、地域の身近な相談窓口として地域包括支援センターを設置し、高齢者の多様なニーズにお応えしていくとともに、要介護状態になることを未然に防ぐため、介護予防事業を展開するなど、高齢者に対する自立支援を今後も積極的に推進してまいりたいと考えております。

本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言を賜りました、佐倉市高齢者保健・福祉・介護計画推進委員会委員並びに各専門部会委員の皆様をはじめ、「佐倉市高齢者保健・福祉・介護計画見直しのためのアンケート調査」にご協力下さいました市民の皆様方に対し、厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも本計画に対し、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成18年3月

佐倉市長 渡貫博孝



1. 序論	2
2. 計画期間	3
3. 計画人口フレーム	3
4. 日常生活圏域の設定	3
5. 計画の基本的な考え方	4
6. 分野別計画	5
1) あたたかい心がふれあう地域づくり	5
2) 安全で快適なまちづくり	5
3) 楽しく生きがいのあるくらしづくり	6
4) 元気いっぱい いきいき健康づくり	6
5) 安心な老後を支える仕組みづくり	7
7. 財源の確保	12
8. 計画の進行管理及び点検、評価	15
附 高齢者保健・福祉・介護事業一覧	16

表紙について

基本デザインに市の木である「桜」をあしらうことで、「佐倉市」の計画であることを、また、円は基本テーマの「よここび」あるいは市民をそれぞれ表し、それが桜の花に接触することで、市民のよここびが佐倉市の中にあることをイメージしました。

そしてそれらを重ねて3つ配置することで、「支え合う」ことを示すとともに、保健・福祉・介護の3分野を表現しました。